ITパスポート試験対策動画。今回のテーマはアフォーダンスとシグニファイアです。

このテーマを取り上げた理由としては、当チャンネルのコミュニティで実施しております、ITパスポート試験一問一答にて正答率が70パーセントを割っていたため作成いたしました。今回は、シグニファイアの関連用語であるアフォーダンスも含めて解説いたします。

アフォーダンス。。

与える。提供するという意味を持つアフォードを元にした造語であり、環境が知覚や行為を促す可能性を意味する認知心理学における概念のことです。アメリカの心理学者、ジェームスJギブソンによって提唱されました。。

例えば、人間は椅子を見て、座ったり、ゲームをしたり、運動をしたりする可能性を思い描きます。このように、人間が可能だと認知できる行動全てが含まれるため、物の持つアフォーダンスは無数に存在することになります。。無数というところがポイントです。

シグニファイア。。

合図。信号という意味を持つシグナルを元にした造語であり、ある物が持つ特定の特性やデザインによって、人が特定の行動を連想したり、その物を使うための手がかりを得たりする、という概念のことです。例えば、取っ手がついたドアや上下に動くオンオフスイッチ、Webサイトのダウンロードボタンなどが挙げられます。シグニファイアが効果的に設計されていると、ユーザーは迷わずに製品やサービスを利用することができます。。特定というところがポイントです。

問68。情報デザインで用いられる概念であり、部屋のドアノブの形で開閉の仕方を示唆するというような、人間の適切な行動を誘発する近く可能な手掛かりのことを何と呼ぶか？。

あ。えぬゆーあい。なちゅらるゆーざーいんたーふぇいす。。い。ウィザード。。う。シグニファイア。。え。マルチタッチ

せいかいわ。う。シグニファイアです。。

人間の適切な行動を誘発する近く可能な手掛かりというところがポイントですね。

念のため、ナチュラルユーザーインターフェース。NUIの説明を少し致します。。

コンピュータを操作する際に、マウスやキーボードといった従来の入力デバイスではなく、より人間らしい自然な方法で操作できるインターフェースのことです。

例としては、音声認識、画像認識、モーションセンサーなどが該当します。